



昇 員  
古川 議 員  
**ごみ減量化対策**  
について

ごみ減量化対策について

質 問

平成25年4月から実施予定とされていた家庭ごみの有料化をとりやめ、まず、ごみの減量化を市民とともに徹底して進めていくこととなった

が、状況はどうか。

市長答弁

ごみの減量化について、各区等での説明会や広報により抑制を図っているとされており、また、生ごみ処理機器の購入費助成額等を平成24年10月から拡充して以降、大幅に助



静 夫  
吉岡 議 員  
**JR糸魚川駅前**  
アーケード改修事業

JR糸魚川駅前  
アーケード改修事業

質 問

平成23年秋に駅前通りのアーケードが解体されたが、最近、予定通りに事業が進められるのかという市民の声も

聞き及ぶようになってきた。アーケードは、一部の事業者のためだけではなく、地域経済や観光、さらに地域住民全体の生活にもかかってくる面も持ちあわせていると思う。

解体されたアーケードは昭和50年に糸魚川駅前銀座商店街振興組合が整備したもので

成件数が増えていることから、その効果も今後現れてくるものと期待している。

ごみの減量化には市民の皆さんの協力が不可欠であり、皆さんの理解を高めていくことで減量化を進めていきたい。



電動  
生ごみ  
処理機

あるが、当時の整備費用及び負担割合と、今回の解体費用及び負担割合について伺う。

また、新幹線開業前の終了予定となっているが、見通しはどうか。

市長答弁

解体されたアーケードについて、当時の総事業費は約6千万円で、全額組合負担で整備されたものである。解体については、本工事業費が約1千万円で、負担割合は国が2分の1、市が4分の1、残りが組合負担である。

見通しについては、平成27年

**糸魚川市の介護施策の**  
充実について

質 問

在宅介護主体に制度移行が進む中、「安心在宅介護」の実現に向けた取り組みの状況は。また、認知症介護者への支援の状況はどうか。

市長答弁

平成18年4月以降、11施設・定員256人分の在宅介護施設の整備が行われ、また、高齢者の総合的な生活支援の窓口となる地域包括支援センターを5

か所開設し、在宅介護支援の向上を図っている。

認知症については、認知症サポートセンターの実施や催し等での周知、担当ケアマネージャー等の支援、地域包括支援センターでの随時相談や相談会等の支援を行っているが、認知症の方を地域全体で見守る体制づくりが重要と認識している。

**ジオパーク事業対応**

質 問

ジオパークの各種宣伝費、人件費、諸費用等、事業にかかる費用の詳細について伺

う。

市長答弁

平成23年度の決算では、総額は約9千7百万円で、主な内訳では、広告費・印刷製本費が約380万円、担当部署の職員人件費が約4千6百万円、解説板等の整備費が約1千8百万円等である。

《その他質問項目》

- ・ 柵口温泉センター
- ・ 旧姫川病院

《その他質問項目》

- ・ 放射能汚染汚泥処理について